

議 事 録

会議名	平成 27 年度第 1 回理事会		
No.	理事会-014	文責	岸田
開催日時	平成 27 年 5 月 31 日 (日) 14:00~16:00	開催場所	ルアール新宿 3 丁目ビック&ス ビル店
出席者 【敬称略】	15 期 荒井 18 期 関、中谷、中久保、岸田 20 期 川田 25 期 神田 30 期 野久尾 【監事】30 期 湊 【副議長】16 期 川上 【常任顧問】1 期 野村 7 期 丸山 【代理出席】13 期 山崎		
会議の目的	定期理事会		
内容			
<p>【理事会開催に必要な定足数の確認】</p> <p>理事総数 14 名中 8 名の出席があり、理事会開催に必要な過半数出席の要件は満たしているとの報告があった。</p> <p>【議事】</p> <p>1. 常任幹事会資料の確認と承認</p> <p>事務局より平成 26 年度決算・活動報告、平成 27 年度予算・活動計画についての説明があり、その後質疑応答がなされた。提出された資料は全て承認された。主な質疑応答は下記のとおり。</p> <p>① 60 周年記念事業として作成した DVD は現在 192 枚の在庫があるとの説明があった。 これに関連して新任の先生に DVD を差し上げているのかという質問があったが、渡していないとの回答であった。また、昨年度 100 万円の寄付をされた方に同窓会より感謝状を差し上げてはどうかという意見が出され、検討していくこととなった。</p> <p>② 平成 26 年度活動報告⑭番の常任幹事の裾野拡大に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任幹事宛に色々な案内を出しても常任幹事からの返事すらない今の状況である。 やみくもに幹事を増やすよりも、この点を改善していくことが必要。今は常任幹事会を成立させるため、何とか卒業期毎に動ける幹事を確保したい。 ・常任幹事宛でのメールは個人宛ではないが、併せて常任幹事会の名簿も添付しているので、自分が常任幹事であることは分かっているはずである。メールの無い幹事には郵送で必要書類を送っているが、実際のところ常任幹事の自覚がない人が多いのが現状である。 ・常任幹事会での採決のみの出席では、常任幹事のモチベーションが高まらないのではないかと。常任幹事会という難しい名目ではなく、常任幹事同士が打ち解けて話ができるような別の集まりを考えて新しい人を集めてみるのはいかがでしょうか。 ・恩師に年賀状を出している生徒を教えてもらうのはいかがでしょうか。30 期～50 期を担当されていた先生を巻き込めば、若い期の活発な同窓生を見出すことが可能になるのではないかと。 ・次回会報は 45 期まで配布する予定であり、同窓会活動も一層若い世代に拡げたい。 <p>③ 若竹会への寄付額は毎年のペースを 30 万円とする。寄付が多く得られれば理事会決議で増額できるよう常任幹事会で承認していただく。</p> <p>④ 同窓会報に広告を入れたらどうかという提案がなされ、今後の検討事項とすることとした。</p>			

2. 同窓会ホームページ改修の現況について

- ① 決算時点での改修費用計上はなかったが、改修作業はきちんと進んでおり、過去のホームページに掲載されていた記事を分類してアップしている最中である。完了までにはもう少し時間がかかる見込み。恩師の近況も以前はご逝去の報告しかできなかったが、原稿があれば掲載できるようになった。
- ② ホームページの保守には費用が掛かる。幾らが妥当かという議論あるにしても、毎年きちんと保守のための費用を計上する必要がある。現在ホームページに登録しているのは500人を超えているが、月に何人の同窓生がホームページを訪れているかといったことはカウントしていない。

3. 同窓生住所録の整備推進について

- ① 同窓生名簿は少しずつ増えている。これをもとに今年度は会報を45期まで、計3,600人位に発送する予定である。
- ② 宅配業者が提供しているメール便が廃止されるとの情報があり、これが仮に実施されると現在一件当たり約200円（会報作成プラス送料）の作成コストが約300円に跳ね上がるので、大きな負担増となる見込み。この件はまだ確定ではないので、会報に関する予算はこの増加分を見込んではいない。

4. 70周年記念事業について

- ① 12月6日に根本さん、野久尾さん両名で中学校の担当教師との会合を行った。中学側の担当は石井副校長、村上先生、青柳先生、川村先生、田崎先生、森内先生の5名。学校側としては60周年の時と同様に研究誌を作りたい意向である。
- ② 大学から受け取れる金額は年々減ってきており同窓会に対しては資金面での協力もしてほしいというのが学校側の思いであり、同窓会としても可能な限り全面的に協力したい。学校側が70周年に何をしたいのか、同窓会はそれに対していくら出せるのかを、今後検討していきたい。
- ③ 5月18日、中学の職員会議で70周年記念事業を行うことが正式に報告された。
- ④ 70周年記念事業実施は2017年、6月か7月のどこかの土日となる見込みである。

5. その他

- ① 同窓会会費は卒業時に1万円をいただいているが、卒業生に頼るだけの現在の仕組みでは十分な活動もできない。学校からの寄付要請もあり今後の在り方を考え直す時期に来ているかもしれない。同窓会規約ではこの卒業時の1万円を終身会費とは明記していないが、中学校からは請求書に終身会費と入れて欲しいと言われている。同窓会会報創刊号を発送した際に寄付のお願いを同封したが、同窓生のうち寄附してくれた方々は、合計発送数1600のうちの約1割である。住所録の整備も含め、同窓会費に関する検討委員会を立ち上げる方向で進めていく必要があるとの認識で一致した。
- ② 旅行に関しては、お彼岸を避けて計画してほしい、急な計画変更は避けてほしいなどの要望があった。今後、各行事はなるべく早く計画を立て周知できるようにしていくこととなった。